

牧たかひろ公式Youtube関連動画



市議会議員 牧たかひろ 地域・政治活動ダイジェスト

総務常任委員会視察



金沢市で「地域コミュニティの活性化」をテーマに視察。地域ICTプラットフォーム「結ネット」は、普段は地域の情報共有ツールとして、災害時には安否確認システムとして機能します。操作が簡単で、市報や回覧板の負担軽減にも繋がります。アプリだけでなく高齢者向け端末やセンサー付き電球も活用されます。参考になる有意義な視察でした。

EV『のるっちゃんバス』視察



大分バスに九州初導入された大型EVバス『EVのるっちゃんバス』は、二酸化炭素排出量を最大4割削減できる環境に優しい乗り物です。内燃機関を使わないため非常に静かで、乗客は快適な乗り心地を体験できます。また、災害時には非常用電源としても活用可能。脱炭素社会の実現に向けた、こうした先進的な取り組みは大分市にとって大きな一歩と言えます。こういった取り組みをされている事に感謝!

議会モニター制度PR



大分県立芸術文化短期大学にて、議会モニター制度のPRに行ってきました！議会活性化推進会議の活動の一環で、若い人たちの政治参加、市議会への関心を持つてもらうため、若者から意見を聴き、議会活動に反映させるための議会モニター制度を実施しています。この取り組みで、1人でも多くの若者が、政治・行政に興味を持ってくれたら良いな！

防災会議視察



大分市議会防災会議で、中央C地域の防災・減災対策を視察。旧ホーバー基地では、南海トラフ地震などを想定した強固な築堤・護岸工事を確認。また、昨年共用開始された下郡災害対策ポンプ施設も訪問。大雨時の冠水対策として期待される。消防団員としても有意義なインプットで、市民の安全に貢献するため今後も知見を深める。皆様のお役に立てるよう、日々精進！

大分市議会議員 牧たかひろ通信

Makky News Vol. 8

皆さんこんにちは、大分市議会議員の牧たかひろです。

早いもので初当選から4年半、2回目の選挙から半年経過し、後輩も入って来たり環境や役回りも変わりました。

議会や会派の中での責任も重くなり、大分市民皆様からの要望も増えて、毎日忙しく活動させていただいております。

現在政治の世界は混沌とした状態と言ってもいいでしょう、中々先が読めない状況です。

こんな時だから浮き足立つことなくしっかりと地に足をつけ、大分市のために働くことが大切だと感じております。市民の皆さんのが安心・安全・快適に過ごせるまちづくり、子育て支援や教育環境の改善、防災・減災対策など、地域の課題に日々取り組んでいます。

「こうしてほしい」「ここを良くしたい」という声を、市政につなげていくことが私の使命だと思っています。

この活動報告書ではこれまでの取り組みや、市議会での発言・提案、そして地域での活動の様子を、わかりやすくまとめました。

皆さんにとって少しでも身近に感じてもらえば嬉しいです。

これからも「現場第一」「市民目線」で、皆さんと一緒に大分市をより良くしていけるよう力を尽くしてまいります。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします！



牧たかひろ 事務所

ブログなど各種SNS更新中！
いいね！やフォローをぜひお願いします！

公式LINEスタート！

〒870-0912
大分市原新町1-27-105
HOTLINE.080-1755-5220

牧たかひろ 検索



市議会通信

発行所
大分市議会自由民主党議員団
大分市荷揚町2番31号
TEL 097-537-5669
発行日 令和7年8月



令和7年第2回大分市議会定例会が6月9日より6月23日までの会期で開催されました。自由民主党大分市議団からは、倉掛賢裕議員、長野辰生議員、進義和議員、牧貴宏議員、平本泉議員、大津將嘉議員の6名が一般質問を行い、市政の様々な課題に取り組みました。市民の皆様に寄り添いながら、少子高齢化や人口減少、地域経済の活性化など、多くの課題や問題について議論が行われました。これからも市民の皆様の声を市政に反映し、より良い大分市を作り上げるために活動してまいります。

大分市議会防災会議

6月23日(月)の議会閉会日に、第20回大分市議会防災会議を実施しました。大分市議会では、市を7つの地域に分けて地区組織を置き、防災や災害発生の対処にあたることとしています。今回の会議では各地区組織の活動報告が行われ、今後の方針について全体で共有しました。大分市では、豪雨災害や南海トラフなど、いつ自然災害が発生するか予断を許せない状況です。地区ごとに防災上の課題を洗い出し、災害発生時には速やかに現場の状況を政策に反映するために作られた防災会議です。引き続き積極的な活動で防災、減災の取り組みに努めてまいります。



委員会ってなに?

1 常任委員会(任期2年)

ふだんから設置されている委員会で、それぞれのテーマごとに分かれており、市議会議員は全員、どれか1つの常任委員会に入っています。

今回はこの中から、常任委員会をピックアップします。市議会には、それぞれのテーマごとに分かれて話し合う「常任委員会」が5つあり、どの委員会にも議員が9人前後所属、担当する内容が決まっています。

総務常任委員会

市役所の全体の運営や計画、お金の使い方、市民サービス、消防、会計、監査(ちゃんとやっているかのチェック)や選挙のことなど、いろいろな部門をまとめて担当しています。他の委員会が担当していない内容もここで扱います。

今議会では市民行政センター等の施設の使用料の額の改定等や、令和7年度大分市葬斎場及び佐賀関火葬場残骨灰の処分などについて審議されました。

文教常任委員会

学校や教育、図書館などの文化活動について考える委員会です。

▶ 教育委員会

市民行政センター等の施設の使用料の額の改定等や、大分市立桂隈小学校と別保小学校の屋内運動場長寿命化改修工事の請負契約を締結等が審議されました。

経済環境常任委員会

商業や観光、働くこと、農業や漁業、そして環境を守ることについての話し合いをします。

▶ 環境部、商工労働観光部、農林水産部、農業委員会

下水道管路の緊急調査等や、市民行政センター等の施設の使用料の額の改定等が審議されました。

市議会では、大事な議案をみんなで決める「本会議」があります。しかし、話し合うことがたくさんあり内容も色々なので、全員で一度に会議をするのは困難です。そこで、より詳しく効率よく話し合うために、小さなグループに分けて話し合う「委員会」という仕組みがあります。委員会には主に次の3つがあります。

2 議会運営委員会(任期2年)

議会がスムーズに進むようにルールや予定を話し合う委員会です。

3 特別委員会

必要なときだけ作られる、特別なテーマを話し合う委員会です。

厚生常任委員会

福祉や健康、子どもたちの安心な生活について話し合います。

▶ 福祉保健部、子どもすこやか部など

市民行政センター等の施設の使用料の額の改定等や、大分市障害者自立支援協議会条例の一部改正について等が審議されました。

建設常任委員会

道路や建物、まちづくり、水道や下水道などのインフラ整備について話し合います。

▶ 土木建築部、都市計画部、上下水道局

下水道管路の緊急調査等や、市民行政センター等の施設の使用料の額の改定等が審議されました。

どの委員会でも「令和7年3月策定大分市公共施設使用料算定基準に基づいた、大分市市民行政センター等の施設使用料の額の改定等」について注目が集まりました。「今後の施設利用に係る運用を含め、総合型地域スポーツクラブなど、地域の団体にどの程度影響を及ぼすのか」「施設利用に係る運用については、各関係団体や地域の方からしっかりと話を聞き対応してほしい」等の議論が交わされました。自由民主党大分市議団としては、皆さまの声を聞き、しっかりと市政に生かせるように日々活動しております。